

「地域課題解決アシストプラン+（プラス）」
令和4年度 オープンデータへの取組を推進するワークショップ 開催概要

近畿管内の地方公共団体のオープンデータ取組推進を目的とし、オープンデータを推進する大阪府と連携し、市町の積極的なオープンデータ公開を目指すためのワークショップを全3回開催しました。詳細は別添報告書（抜粋）のとおりです。

1. 参加市町（全24市町）（順不同）

大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、吹田市、守口市、枚方市、八尾市、泉佐野市、寝屋川市、河内長野市、大東市、箕面市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、太子町

2. 講師

一般社団法人リンクデータ 代表理事 下山 紗代子 氏
浜松市デジタル・スマートシティ推進課 デジタル庁（兼務）村越 功司 氏

3. 概要

(1) 第1回ワークショップ <担当者・管理者向け>

開催日：令和4年12月19日（月）

開催方法：オンライン（Webex）

概要：テーマ「理解」

ねらい：府内市町村の情報政策担当の間でオープンデータに関する共通の知識を持つ

内容：

- ・なぜ、行政においてデータを使う必要があるのか
- ・行政データの公開がもたらす社会的インパクト
- ・庁内でも民間でも活用しやすいデータ作りのポイント
- ・浜松市における実践例

(2) 第2回ワークショップ <担当者向け>

開催日：令和5年1月17日（火）

開催方法：オンライン（Webex）

概要：テーマ：「実践」

ねらい：効率良くコンピュータ処理できるデータを整備して公開する方法を習得する

内容：

- ・GOOD データとBAD データ
- ・連携しやすいデータを作るためのルール
- ・表形式データを扱うポイント
- ・覚えておくと便利な Excel 小技
- ・次回ワークショップまでに行って頂く課題の説明

(3) 第3回ワークショップ <担当者向け>

開催日：令和5年2月17日（金）

開催方法：QUINTBRIDGE（大阪市都島区東野田町 4-15-82）、オンライン（Webex）

概要：テーマ：「共有」

ねらい：府内市町村での実践を通して得られたノウハウを共有し、今後の業務に役立てる

内容：・各市町村でオープンデータ公開に向けて取り組んだ内容の実例発表

・講師による解説と助言

・大阪府からの関連する取り組みのご案内

4. オープンデータ公開状況

大阪府において、大阪府内自治体が利用可能なオープンデータポータルは年度内公開を予定している。また、ワークショップに参加した7市が新規オープンデータの公開、または既存の公開データの整備を実施した。

〈抜粋版〉

オープンデータへの取組を推進する
ワークショップ開催に関する請負
報告書

2023年2月28日

一般社団法人リンクデータ

事業の目的等

あらゆる業務やサービスにおいてデジタル処理が前提となる時代、行政で扱ってきた情報はコンピュータで扱えるデータの形で整備する必要がある。

官民データ活用推進基本法（平成 28 年 12 月公布・施行）及び令和 3 年 6 月に改正された「オープンデータ基本指針」において、国や地方公共団体は公共データの公開及び活用に取り組むことが義務とされている。

行政組織内部でデータを共有することや、オープンデータによって外部組織でも行政データを活用可能にすることで、既存の業務を効率化するだけでなく、民間とうまく役割分担をして住民向けサービスの運用や地域課題解決を進めることにつながる。

本事業では、オープンデータを推進する大阪府と連携し、オープンデータに詳しい専門家を講師とするワークショップを行い、他自治体での取り組み事例やデータを効果的に活用可能にするための実践的な手順を伝えることで、大阪府内の地方公共団体の積極的なオープンデータ取組の推進を目指した。

1. 実施方法

(1) ワークショップ実施場所

第1回・第2回：オンライン（Webex）

第3回：QUINTBRIDGE（大阪市都島区東野田町4丁目15番82号）

(2) 参加対象者

1. オープンデータ未取組の大阪府内の市町村
2. オープンデータ取組済の市町村のうち参加を希望する大阪府内の市町村

(3) 利用ツール

1. Webex

用途：ワークショップ開催及び事前打ち合わせに利用

ホスト：大阪府

2. デジタル改革共創プラットフォーム (Slack)

用途：オープンデータの推進全般に関する質問や意見交換の場として利用

3. Sli.do

用途：リアルタイムでの質疑やコメントの受付、アンケート実施、後日寄せられた質問への回答

2. 実施スケジュール

	11月	12月	1月	2月
準備	→			
ワークショップ		● 12月19日	● 1月17日	● 2月17日
課題・オンラインツールによる意見交換			→	

3. 実施内容

(1) ワークショップ

① 第1回ワークショップ <担当者・管理者向け>

開催日時：2022年12月19日

参加者自治体数：23自治体（参加者数：40名）

講師：下山 紗代子、村越 功司

テーマ：「理解」

ねらい：府内市町村の情報政策担当の間でオープンデータに関する共通の知識を持つ

内容：

- なぜ、行政においてデータを使う必要があるのか
- 行政データの公開がもたらす社会的インパクト
- 庁内でも民間でも活用しやすいデータ作りのポイント
- 浜松市における実践例

② 第2回ワークショップ <担当者向け>

開催日時：2023年1月17日

参加自治体数：22自治体（参加者数：37名）

講師：下山 紗代子、村越 功司

テーマ：「実践」

ねらい：効率良くコンピュータ処理できるデータを整備して公開する方法を習得する

内容：

- GOOD データと BAD データ
- 連携しやすいデータを作るためのルール
- 表形式データを扱うポイント
- 覚えておくと便利な Excel 小技
- 次回ワークショップまでに行って頂く課題の説明

③ 第3回ワークショップ <担当者向け>

開催日時：2023年2月17日

参加自治体数：21 自治体（参加者数：38 名）

講師：下山 紗代子、村越 功司

テーマ：「共有」

ねらい：府内市町村での実践を通して得られたノウハウを共有し、今後の業務に役立てる

内容：

- 各市町村でオープンデータ公開に向けて取り組んだ内容の実例発表
- 講師による解説と助言
- 大阪府からの関連する取り組みのご案内

4. 取り組みを通じての成果

大阪府において、大阪府内自治体が利用可能なオープンデータポータル内の年度内公開を予定している。

また、ワークショップに参加した7市が新規オープンデータの公開、または既存の公開データの整備を実施した。

ワークショップにおいて匿名でもコメントを受け付けたことで、参加者の心理的安全性を確保することができたため、オープンデータ担当職員が感じている課題や疑義を

把握することができた。今後これらを踏まえてオープンデータの取り組みにおける広域連携の施策によって解決する方法を検討する必要がある。